

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会(事務局:全国私立学校教職員組合連合)

No.22 2025年9月8日(月)

「高校無償化」報道・その2 毎日「私立高 無償化できる？」

毎日新聞は9月3日付朝刊の社会面に「私立高 無償化できる？」と題した記事を掲載。文科省は概算要求を発表したその日に記者会見し、財務省へ税制改正要望を出したことを説明しましたが、その取材を中心に、制度がまだ何も決まっていないことやその影響がすでに出ているという内容で、「何も決まっていない状態」「(3党の)協議を見守るとしか言えない」などの文科省の発言を引いて、実現可能性の不透明感を強調しています。埼玉では学事課から各校に「来年度のことは未定なので触れないように」という趣旨の通知が出されました。同じ毎日の8月27日付電子版では「文科省内には…無償化の実現可能性を疑問視する声もある」と踏み込んでおり、下の記事でも「与党の枠組みや維新の立ち位置次第で合意内容が変更されるかもしれないという見方もある」「(阿部文科大臣も)高校無償化の詳細が示されないことの影響に関する質問に正面から答えなかった」としています。

私立高無償化できる？

私立高校の授業料は本当に無償になるのか。学校や進学塾など教育関係者の間で、そんな懸念がじわりと広まっている。自民、公明、日本維新の会の3党が2026年度から始めると合意した「私立高を含む無償化」について、制度の中身や予算の裏付けが、あと半年ほどに迫ったこの時期になっても見通せないためだ。

すでに私立高では生徒募集に向けた説明会などを開催しており、文部科学省には「どういう制度になるのか」という問い合わせも複数寄せられているという。教育界からは「早く詳細が示されなければ、生徒や保護者が混乱する恐れがある」との指摘が上がっている。

「何も決まっていない状態。高校無償化自体、3党合意で始まっており、具体化に向けても政治の方で協議が進んでいくものと承知している」

8月29日、文科省の26年度予算の概算要求に関する発表で、高校無償化の財源確保に向けて「増税を前提にしているのか」と記者から問われた文科省の担当者はこう説明した。

概算要求と同時に財務省への税制改正要望で

は、高校無償化の財源については「検討の開始」を求めたが、所得税や法人税、消費税などのうちどの税目にも手を付けるべきかを含めて3党による協議に委ねるとの認識を示した。

概算要求は、各省庁が次年度に取り組む事業の予算規模を示した上で財務省に求めるもので、例年8月下旬に内容が公表される。従来であれば制度設計などが一定程度決まっているタイミングだが、高校無償化については予算について額を示さない「事項要求」となっていた。制度の詳細が固まっていなかったためだ。

高校無償化の議論は政治主導で進んできた。

自民、公明、維新の3党は25年2月、世帯年収を問わず、私立も対象として26年度から授業料を最大45万

7000円(現在は39万6

来春予定 学校「保護者に説明できぬ」



④高校無償化の財源確保を念頭に税制改正要望などについて説明する文部科学省の担当者ら
⑤東京都千代田区で8月29日、斎藤文太郎撮影
⑥高校無償化の予算について、具体的な額を記載せず「事項要求」とした文部科学省の概算要求に関する資料



000円)まで無償にするとの内容で合意した。ただ、超富裕層を対象とするかどうかなど結論が出ていない論点が複数あり、協議は今後も続く見通しだ。

文科省内からは「本来であれば今の時期に制度を固めておきたいところだが、協議を見守るとしか言えない」との声が上がる。今夏「苦肉の策」を取った。「無償になる」とはつきり言えず、もどかしい。早く決め

てもらいたい」
福岡市の私立高では、26年度の授業料支援についてホームページやパンフレットに「今後見直される予定です」と記載した。教頭は「保護者にとって大事な情報で、時々電話で問い合わせが来るが、詳しく答えられず心苦しい」と話した。

学校説明会などで配布した募集要項には今年度の授業料を記載した上で「国の状況次第で授業料は変わる可能性があります」と記す

札幌市の「進学塾セントラル」の澤口英剛塾長(54)は「私立の完全無償化が決定事項だと考え、進路の選択肢から公立を外しつつある生徒もいる。財源確保ができれば、公立に進路を変更せざるを得ず、確実に合格するために志望校のランクを落とす生徒も出てくるのではないかと懸念した。」

阿部俊子文科相は8月29日の閣議後記者会見で、高校無償化の詳細が示されないことの影響に関する質問に正面から答えなかった。

「3党で検討が行われており、予算編成過程で成案を経て、実現されるものと承知をしている。その状況を踏まえながら、必要な対応をしっかりと検討していく」と述べるにとどめ、詳細は事務方に問い合わせよう報道陣に求めた。

【西本紗保美、木原真希、斎藤文太郎】